

北海道大学歴史的資産 ガイドマップ & 見どころポイント



第二農場の農機具展示

モデルバーンをはじめ主要な建物内部には、札幌農学校発足以来導入・試行されてきた数多くの農機具が整理・展示されている。これらは、(1)明治初期にケブロン長官らの提言により推進が図られた畑・酪混合農業に適した洋式畜力農業機械類、(2)初期の農用原動機とトラクタ類、(3)日本全国の嶺などの人力農具類に大別され、近代農法の導入拠点として位置づけられた札幌農学校の歴史と北海道開発の過程を考える上で貴重な標本となっている。



埋蔵文化財調査センター

北大札幌キャンパスは全域が遺跡であることから、キャンパス内で工事が行われる際には遺跡を保護するために発掘調査を実施する。調査により発見された古代の住居址や埋没した河道などの記録を行い、出土した土器や石器などの考古資料を修復し、常時公開展示している。また、発掘調査の現地見学会や発掘資料の速報展示、発掘調査地点に設置した野外解説版(人類遺跡トレイルサイン)を巡るトレイルウォークなども定期的実施している。

公開展示のご案内

【開設時間】
平日 9:00~16:30 (祝日や年末・年始を除く月~金)
札幌市北区北11条西7丁目
<http://maibun.facility.hokudai.ac.jp/>



総合博物館

全学的な学術標本の集約と学内外への情報発信のために、1999年春に設置された大学博物館。本学には、札幌農学校時代から収集・保存・研究されてきた400万点にもおよぶ学術標本・資料が蓄積されている。特に1万点以上にのぼるタイプ標本は貴重。学術標本の展示公開とともに、大学が行っている各学部の教育活動や最先端の研究についても様々な実物資料や映像で展示・紹介している。一般公開部分の面積はおよそ3,800㎡。「ミュージアムショップ」や「カフェ」を併設。

ご利用の案内

【開館時間】
10:00~17:00
(ただし6月~10月の金曜日は10:00~21:00)
【休館日】
月曜日、12月28日~1月4日
(ただし、月曜日が祝日の場合は開館し、連休明けの平日が休館日となります。)
*大学行事等で臨時閉館・休館の場合があります。
【入館料】 無料



札幌市北区北10条西8丁目
TEL:011-706-2658
FAX:011-706-4029
museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp
<https://www.museum.hokudai.ac.jp/>

植物園 札幌市中央区北3条西8丁目



施設紹介

植物園は1886年に宮部金吾の設計によって設立された。1882年に建設された博物館本館を中心とする博物館部門とともに、北海道で最も歴史のある施設である。博物館建築群と植物園門衛所が1989年に国の重要文化財に認定されている。この他宮部金吾記念館・バチェラー記念館が国の有形文化財として登録されている。植物園では建築物だけでなく地形も保全されており、明治期の札幌の様子を体感できる。また、聖穴住居跡も公開部分で観察することができる。
<https://www.hokudai.ac.jp/fsc/dg/>



ご利用の案内

■夏期 4/29~11/3
【開園時間】入園は30分前まで
4/29~9/30 9:00~16:30
10/1~11/3 9:00~16:00
【休園日】
月曜日(祝日の場合は、翌日)
【入園料】
高校生以上 ¥420(団体¥350)
小・中学生 ¥300(団体¥240)
■冬期 11/4~4/28
温室のみ開館
【開園時間】入園は30分前まで
平日 10:00~15:30
土曜 10:00~12:30
【休園日】
日曜、祝日、12/28~1/4
【入園料】
小学生以上 ¥120

